



小さな学校の大きな快挙!

強豪校を次々と破り、県中学校夏季体育大会女子団体で初優勝した岩崎中学校卓球部。熱い夏を過ごしたメンバーは、東北大会での健闘を誓いました。



- ① 木登りのコツは足。インストラクターの指導を受け、器用に足を使って木の上を目指す
- ② いかだがばらばらに!?緊急事態発生を受け、みんなでいかだを支えて岸まで移動（泳ぎたいだけのような気がします…）
- ③ 炎天下の中、子どもたちはもちろんスタッフも中学生も一緒になっていかだを作りました
- ④ いかだレース1位で流しそうめん特等席をゲット！（そうめんはどこでも食べることができました）

きない絶景を楽しみました。
 全てのプログラムを終えた子どもたちは「みんなで協力していかだを作ることができてよかった」、「初めて参加したけど楽しかった」と、感想を述べ、補助スタッフとして参加した中学生は「今までは参加する側だったけど、裏方の仕事の大変さが分かった」と、話していました。

1泊2日の日程で、親元を離れて仲間とのアウトドア生活を体験した子どもたち。協力して物事を成し遂げる達成感や、身の回りのことを自分で行う自立心を身に付け、少し日焼けした顔

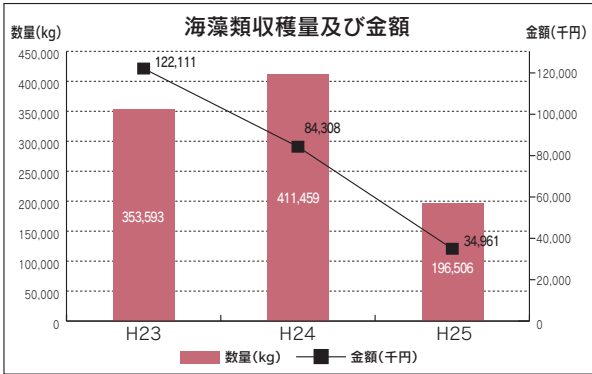
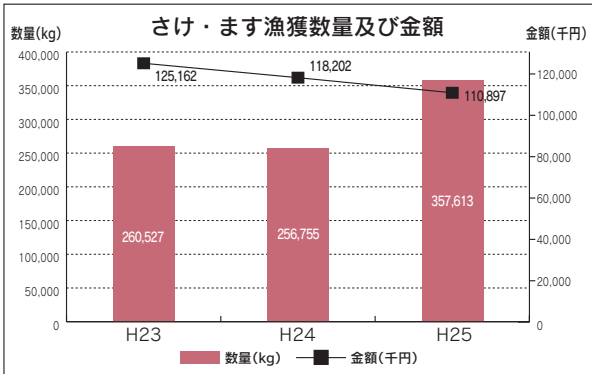
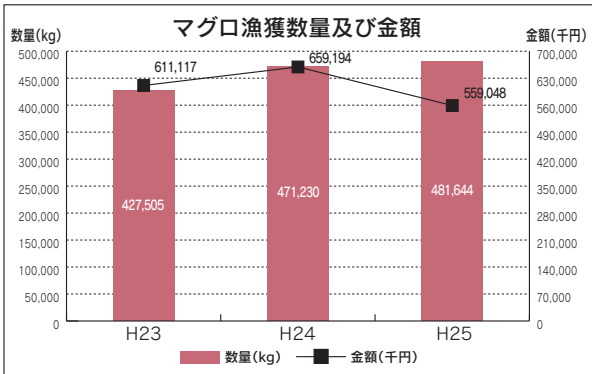
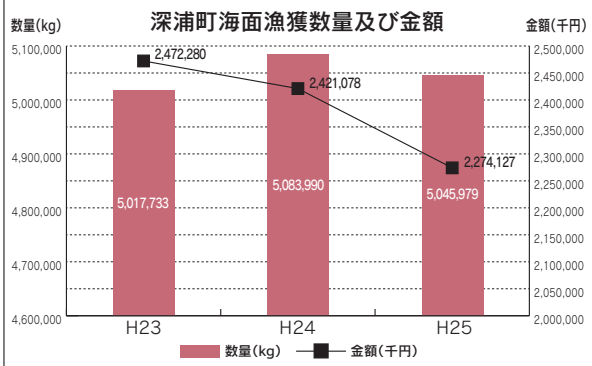
2日目は、ロープを使った木登りに挑戦。子どもたちは、腕の力ではなく足で真下に蹴るようにして登ることなど、木登りのコツをインストラクターから教えてもらい、自分の力で高く登った木の上から、普段はみることで移動させ、6班全てが無事ゴールしました。

このアドベンチャーキャンプのメインプログラムは、何といっても丸太によるいかだ作り。6班に分かれた子どもたちは、なかなか目にする機会のない丸太を運び、スタッフの協力やアドバイスのもと、どうすればきちんと固定できるかを考えて、しっかりとひとりで結び、いかだを完成させました。

その後、十二湖海浜公園に移動し、恒例のいかだレース。途中でオールが流されたり、いかだのひもが緩んで壊れそうになったりするハプニング!?の中、みんなで助け合っていたいかだを岸まで移動させ、6班全てが無事ゴールしました。



吉田町長と握手する嵯峨所長（右）



産学官連携で地域活性化を

水産物から連携スタート

農林水産物の高機能ブランドと地域資源の調査、研究開発を通じた地域活性化を図ろうと、7月22日、町と弘前大学食料科学研究所が、基幹産業である一次産業の更なる発展を目指して、互いに連携・協力する協定を締結しました。

平成24年度に設置された同研究所と自治体の協定締結は、今回が初めて。町民文化ホールで行われた調印式では、吉田町長

が「産学官連携のもとに具体的な事業を実施し、地域振興により活性化していくことを目標としてい

たい」とあいさつし、続いて嵯峨直恒研究所長が「深浦町は、白神山

地を背後に控え、食を開発する研究者にとって、自然豊かな魅力ある地域」と語り、今後のプロジェクトとして「マ

グロブランド力の推進、サーモン養殖の可能性調査、低未利用のモズクやエゴノリ等の海藻類の高機能ブランド化」を紹介しま

した。また、大河原隆副学長は「まずは水産物を中心に取り組み、

1年後には包括的な協定に発展できればと考えている。深浦から世界に情報発信できる成果を挙げていきたい」と、抱負を語りました。

ブランド化で魚価低迷に歯止め

今回締結した同研究所との連携は、水産物の取組みから始めることとなっています。三方を海に囲まれた青森県では、各地で水揚げされた魚種を全国へ出荷。当町でも、ほぼ毎日何らかの魚が水揚げされており、日本海側における県内有数の水産物供給地となっています。

多種多様な魚種が見られる深

養殖事業の可能性を探る

マグロや海藻類のブランド化と並ぶもう一つの柱が、サーモ

浦は、低未利用魚や海藻が豊富にあり、研究対象としては絶好の場所。その一方で、温暖化の影響や産地間競争の激化等により、町全体の水揚量、金額とも減少傾向となっています。特に、嵯峨所長が挙げたマグロ、サケ・マス、海藻類は漁獲量と金額が比例していない状況です。これを打開するためにも、町で取り組んでいるマグロのまちづくりと合わせて、海藻類のブランド化による魚価低迷の歯止めが、急務となっています。

海中に仕掛けた網や延縄等、自然を相手に行う漁法が主だった深浦町において、サーモン養殖事業調査は、作り育てる漁業の入り口となる新しい可能性を秘めています。超えるべき課題はありますが、漁業における雇用の確保や後継者対策にもなる連携事業の進展に、大きな期待が寄せられています。



自然豊かな海を満喫

海洋自然学校

様々な体験活動を通じて、子どもたちに地元産業への理解と魅力を感じてもらい、後継者の育成に努めている深浦マリンキッズ。この活動のメインイベント「海洋自然学校」が、7月29日から30日にかけて行われました。

水を怖がることなく海に親

しんでもらい、自然の素晴らしさを感じて海への知識を深

めてもらう海洋自然学校には、34名の子どもたちが参

加。2日間に渡って、岡崎海岸でのスノーケリング、ロー

ブワーク講習会や海ほたる観察などのプログラムをこなしました。

このうち、メインプログラムであるスノーケリングでは、参加者の半分が経験者と

いうこともあり、慣れた手つきでスノーケルやフィンを着着。5組に分かれた子どもたちは、インストラクターと深さ3m以上の沖合へ移動し、目の前で泳ぐ魚たちを見たり、岩と岩の間にいるヒトデやサザエを見つけ、大はしゃぎしていました。

海中散策を終えた子どもたちは「3年間参加して、プー

ルでも泳げるようになった」、「友達と楽しく泳ぐことができた」と、感想を話してくれました。

友だちと過ごした2日間で、海に親しみ、知識を深めた子どもたちは、確かな成長

と自然の素晴らしさを体感し、豊かな深浦の海を満喫した様子でした。

7/2 川の厄介者が 遊歩道のチップへ変身

木造高校深浦校舎と白神山地の生き物を観察する会（浜田哲二代表）が、白神体験学習の一環として、笹内川流域の流倒木回収、ウッドチップ袋詰め作業を行いました。

川原での流倒木回収作業では、浜田代表が流倒木による土石流の危険性を説明。続いて、マタギの伊勢勇一さんが切り分けた厄介者の太さ約60cmのドロノキを、ロープなどで1か所に集めました。

その後、校舎に移動し、笹内川流域の倒木で事前に作ったトラック2台分のチップの袋詰めを実施。生徒たちは、手作りのペットボトルスコップなどを使って袋詰めし、「川の災害を防ぐ活動ができて気持ち良かった」と、感想を話していました。

袋詰めしたチップは、10月下旬に十二湖森林セラピー遊歩道に敷き詰める予定。故郷を守り、再生資源への手助けをした生徒たちの顔には、充実感が溢れていました。



伊勢さん（左）と一緒に倒木を引く



手作りのスコップ等を使って袋詰め



しなやかに踊る中学生

7/15 郷土芸能を絶やさない

岩崎地区で雨乞いの「花上げ踊り」が行われ、初参加の女子中学生がしなやかな踊りを披露しました。

武蔵槍神社の例祭日に行われる花上げ踊りですが、少子化の影響で男子中学生の参加が今年は1人。そのため、花上げ踊り保存会が、女子中学生2名に参加を呼びかけました。

参加した13名は、3組に分かれて踊りを披露。大役を果たした女子中学生は「緊張したけど楽しかった」と笑顔で語り、400年近く地域で守られてきた伝統が、今年も新しい世代へと受け継がれました。



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

ウォッチング

7/8 広がれ！赤十字奉仕

町赤十字奉仕団（堀内カツ委員長）と青少年赤十字メンバーとの交流研修会が、いわさき小学校で行われました。

初開催の研修会には、4年生15名が参加。災害時を想定し、泥水や海水でも煮炊きできる救援用包装食袋「ハイゼックス」を使った炊飯に挑戦しました。

研修を終えた子どもたちは「災害時は、炊き出しの手伝いをしたい」と、感想を述べていました。

同奉仕団では、他の小中学校や保育園でも赤十字の輪を広げていくこととしています。



米の分量に合わせて慎重に水を入れる



夏本番に向けテープカット

7/10 遊泳者の安全を祈願

「日本の渚100選」の岡崎海岸で、津軽のトップを切って海開き安全祈願祭が行われまた。

強い雨の降り続く中、関係者が水難事故の防止と遊泳者の安全を祈願。その後、吉田町長が「夏の観光振興に向け、関係者一体となって頑張りたい」とあいさつしました。

町内には「日本の水浴場55選」に選ばれた千畳敷を始め、白神山地を望む森山海岸など、多くの海岸が存在。今年も対象地点全てにおいて、最も水質がよいとされるA A判定となっています。

7/26 森の癒しを体験

森林が持つセラピー効果を体験してもらおうと、7月26日と27日、森林セラピー基地「十二湖の森」で、町民向け体験会が行われました。

26日の体験会には10名が参加。散策前に血圧や体温、ストレス値を測るアミラーゼ測定を行い、金山の池や青池などを巡るセラピーロードを散策しました。

参加者は、ガイドによる指ヨガや野鳥の鳴き声、ヒノキなどの植物の匂いでリラックスした様子。散策後の健康数値も改善し、森の癒し効果を確認していました。



湖畔のデッキでほっと一息

あおもり深浦牛

パーベキュー

BBQまつり2014

inウェスパ椿山

お申込み・お問合せは ☎0173-75-2261(代) 主催/株式会社ふかうら開発イベント実行委員会

日時 2014. 9. 14(日) & 15(月・祝)

10:00~17:00まで(※2日目は16:00終了)

場所 ウェスパ椿山イベントステージ前
(物産館コロボックル駐車場)

前売券2,000円好評販売中！
販売場所: ウェスパ椿山、ふかうら開発各工場

Good Job! Fykaura



7月20日から行われた青森県中学校体育大会夏季大会卓球女子団体において、見事初優勝を果たした岩崎中学校卓球部。7月29日、吉田町長へ優勝報告に訪れた卓球部を紹介します。

原田コーチによると、生徒たちが強くなった原因は



15年以上続く弘前実業高校の合宿。小中学生が多数参加し、技術向上の最高の場となっている

「みんなが競い合っている」こと。練習で負けると泣く子もいて、その悔しさをバネにまた練習に打ち込む、これを繰り返すことで、全体がレベルアップしたと感じています。

県大会を振り返って、キャプテンの奥村さんは「今までやってきた練習量を信じ、仲間を信じて全力で戦えたこと」を、今回の勝因に挙げています。また、チームの特徴として「元気な人が多い。他の学校から見たら『岩崎うるさい』と思われるかも（笑）。でも、元気を出して勝てたので、これからも元気を出していきたい」と、話してくれました。

そして、もう一つの勝因を挙げるとすれば、川村コーチの選手起用が見事にはまったこと。「対戦相手のエースが何番目に出るかを分析し、読み通りの展開だった」と、川村コーチは言います。勝負を決める最終試合は、すべて奥村さんが出場し「緊張で足の震えが止まらなかった」ようですが、奥村さんの試合前に起用した選手が期待に応え、キャプテンが勝利を掴み取ったことは、チーム全体の力が高いことを表しています。

最後に「全力を出し切って、全中（全国中学校体育大会）にいけるよう頑張ってきます！」と、8月の東北大会へ向けて決意を語った奥村さん。笑顔弾けるメンバーの更なる活躍が期待されています。



たけくま動物病院

TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地

TEL 0185-89-2666

☎ <http://www.takekuma-vet.com/>

入院施設有

往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィリリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査、健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)

◎診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00~12:00	○	○	10:00~12:00	○	○	10:00~12:00
午後	3:00~6:00	○	○	3:00~5:00	○	3:00~5:00	1:00~3:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

受付時間は終了の30分前までです



むし歯ゼロの子
大集合

7月に行われた3歳児健診で、むし歯がなかった子どもたちを紹介します。



(舩 作)
岩 根 いろ 彩 は 華 さん



(6 区)
浦谷^り理^{のん}暖さん



(崎の町)
海 浦 優 希 くん



(広 戸)
吉 田 千 づる 鶴 さん



(風合瀬)
こう しょう
櫻 井 孝 承くん

乳幼児用イオン飲料は、高熱が出ている時、嘔吐や下痢がひどい時、汗を大量にかいた時の水分補給としては良いと思いますが、普段入浴後やのどが渇いた時飲むには糖分が多すぎ、しかもそれを哺乳瓶で飲ませていると上の前歯がすぐにむし歯になってしまいます。適度な塩分と糖分を含んでいますが、糖分の濃度が高く甘みがより強いため子どもが好んで飲み習慣化してしまいます。特に夜寝る前や夜中に起きた時は与えないようにしましょう。与えすぎると肥満や食欲不振など全身にも悪影響を与えます。

また、学童期にペットボトルのイオン飲料を持ち歩き常時飲んでいると、生えたての永久歯のむし歯リスクが大きくなるので気を付けましょう。

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

ご用命は
任せて安心の

厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター在籍店

株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で！
「一般貨物自動車運送事業（霊柩）第497号」
365日・24時間受け付けております。

電話 (74) 4536 **FAX 74-4546**

「ペット葬」承ります

つがる西北五広域連合長に 五所川原市長、平山誠敏氏が再選

7月16日、つがる西北五広域連合構成6市町長による連合長の選挙が行われ、五所川原市長平山誠敏氏がつがる西北五広域連合長に再選されました。

つがる西北五広域連合は、五所川原市、つがる市、鰺ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の2市4町で構成されており、つがる総合病院・かなぎ病院・鰺ヶ沢病院・つがる市民診療所・鶴田診療所の西北五圏域自治体5病院・診療所の一体運営を行っています。

平山連合長は「地域住民の医療ニーズに対応した質の高い医療サービスの安定的な提供へ努力し、圏域全体の福祉向上のために邁進したい」と抱負を述べました。



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんの健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月の
ドクター 山下 優 先生
深浦医院・院長



最近話題の「混合診療」を巡って②

広報ふかうら6月号の続きです。

(2) 「人工尿道括約筋の埋め込み術」を通しての「混合診療」の理解

1. 前立腺がん検診でのPSA(＝前立腺特異抗原)検査の普及により、「早期がん」が見つかり、前立腺全体を取り除く「前立腺全摘術」を受ける患者さんが増加しています。
2. この場合、命の方は間違いなく保証されます。しかし、排尿を自分の意志でコントロールするのに絶対必要な尿道括約筋の機能が、手術で失われてしまうケースがあります。そうなった場合、尿を膀胱にためておく事が出来ず、常時の尿の垂れ流し状態に陥ります。この重症尿失禁状態はこれまでの一般的な治療では改善される事は有りません。重症尿失禁は前立腺全摘術を受けた人の1～3%に起こるとされています。
3. 重症尿失禁へのこれまでの対応策は「オムツの使用」だけでした。つまり、オムツに依存した生活となるしかありませんでした。オムツも尿の量・臭い・肌への接触感等の面では改善されてはいますが、外出や会合等での人との接触等を考えれば、気持ちも塞ぐ事でしょう(海外では重症尿失禁が原因でうつ病を発症し自殺したケースも報告されています)。加えて、オムツ代も月3万円は超えてしまう様です。QOL＝生活の質が大幅に損なわれてしまうこととなります。
4. こういう患者さんにとって、唯一の治療法となったのが「人工尿道括約筋の埋め込み術」です。手術は全身麻酔で

行われ、所要時間は1～2時間、入院期間は1週間弱です。費用の方は、公的保険の使えない人工尿道括約筋の機器とその埋め込み手術の部分で170万円程度。これに保険が使える検査費や入院費といった部分の自己負担分が加わります。費用は決して安いとは言えないかと思えます。又、この「埋め込み術」を行える施設として認定されている医療機関は北海道大学病院(札幌市)、東北大学病院(仙台市)他等と少数に限られています。

5. 手術の結果はどうでしょうか?埋め込んだ機器は、特段の事が起こらなければ、10年以上の使用に耐えているとの事です。又、術後の状態を見ますと、完全に尿失禁が治癒した方が46.6%、残りの方も1日1枚の尿とりパットで対応できる程度の失禁で済んでいて、実に91.4%の方が「社会生活に支障がない」と答えているそうです。患者さんの満足度は高いもので、大変優れた治療法だと言えると思います。

(3) 最後に
この様に、混合診療はある患者さんにはこの上のない贈り物となり、素晴らしい事だと思います。ただ、その反面、混合診療の拡充・発展は「お金のない人には高嶺の花のような医療が中心になるのではないか」「保険診療の衰退をもちたしかねないのではないか」等々、「問題点」を指摘・憂える声も強まっています。影の部分への関心を失わない事も大切なのではないのでしょうか。

す

こ

や

か

夏の過ごし方豆知識

～どうしたらいいの?熱中症にかかったら～



今年も暑い季節を迎え、日本全国で熱中症が多発しています。

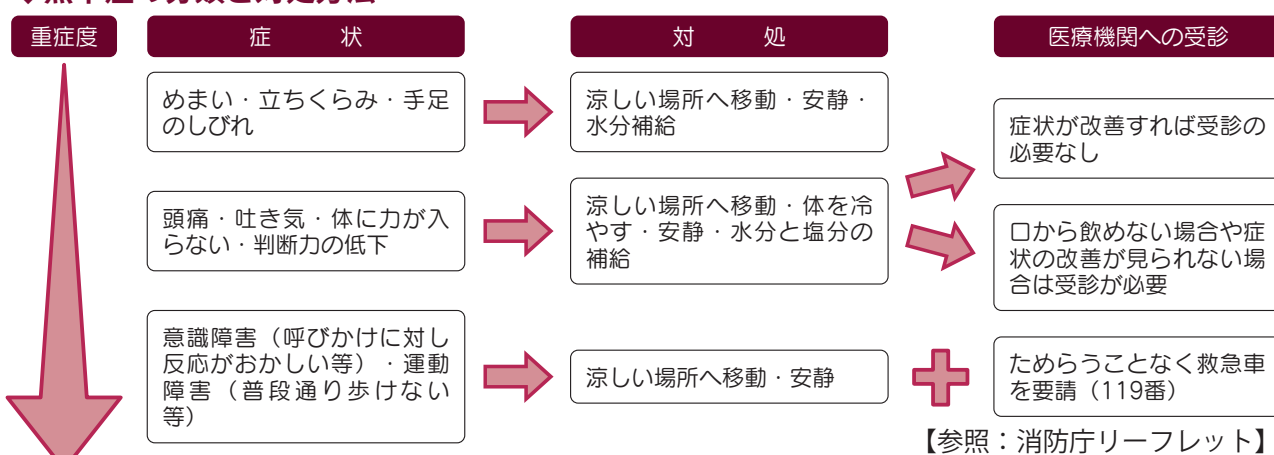
熱中症とは、暑熱による障害の総称。

熱中症にかかると、運動不能等の状態になり、重症になると死亡の危険率が高くなるとされています。

夏を快適に過ごすため、熱中症の予防と対処方法を知っておきましょう。

問合せ先：深浦町国民健康保険関診療所
TEL 76-2109

◆熱中症の分類と対処方法



熱中症を予防するには かくれ脱水に注意!

“かくれ脱水”とは、自分でも気づかないうちに、体内の水分が足りなくなっている状態のことを言います。放っておくと熱中症を引き起こすこともありますので、早めの対策をしましょう。

かくれ脱水はお年寄りに起こりやすいものですが、若い人でも夏バテや、二日酔いのときに起こります。日頃からこまめな水分補給を心がけましょう。

手軽で美味しい 経口補水液レシピ

- 1 砂糖40g(大さじ4杯と1/2杯)と、食塩3g(小さじ1/2杯)を湯冷まし1ℓに溶かす。
- 2 飲みやすい温度になるまで、かき混ぜる。
- 3 果汁(レモンやグレープフルーツ等)を入れると、飲みやすくなり、カリウムの補給にもなります。

・水分補給には 経口補水液が最適です!・

経口補水液は、自宅で簡単に作れます。脱水症状の時だけでなく、子どもの急な下痢や嘔吐時の水分補給にも最適です。



五所川原第一高等学校 通信制課程

高校卒業資格を手に入れよう

- 今の学校になじめない・・・という方
- 体力的に毎日は無理・・・という方
- 一度辞めてしまった・・・という方

通信制なら、どうでしょう?

☆就学支援金(高校無償化)も適用されます。詳しくは下記まで、お問合せください。

〒037-0044 青森県五所川原市字元町6-1
TEL 0173-26-6662 FAX 0173-26-6663

ホームページ <http://goichiko.jp/tsushin/>
メールアドレス goichi_tushin@tenor.ocn.ne.jp

水・日・休校日

後期入学生募集

出願期間
☆平成26年8月19日
～ 9月4日

入学から卒業まで

入学

1年次

2年次

3・4年次

74単位以上で卒業

スクーリング(毎週金・土曜)

隔週のレポート(プリント学習)

特別活動(行事・LHR等)

単位認定



深校だより

白神体験学習で郷土を知る

7月2日、白神体験学習を行いました。
カメラマンの浜田哲二さん、律子さんご夫妻とマタギの伊勢親方のご指導のもと、町内の笹内川に流れ着いた流木を回収し、その木で、十二湖森林セラピー遊歩道にしきつめるウッドチップを作り、袋詰めをしました。
作業はまず、町内の笹内川のわきに積み上げてあった丸太をトラックに積み込むことから始まりました。生徒は互いに協力し合って、手際よく作業をこなしていました。
そのあと、さらに上流に進み、伊勢親方と浜田さんによる環境学習が行われました。川端に流れ着いた大きなドロノキがありました。樹齢は50年ほどだそうです。お二人から、この木について、刃物を痛めやすい木であり、近年は木材利用としては価値がないが、ウッドチップに利用するには、木質が柔らかいため適しているなどの細かい説明がありました。
昼休みを挟んで学校に戻ると、朝にトラックに積み込んだ木がウッドチップになって運ばれてきました。生徒手作りの専用スコップを使って1つずつ袋詰めにしていきました。300袋も詰めたかと思えます。生徒は、照りつける日差しの下、暑さに耐えながら黙々と作業を進めていきました。
10月31日には、この木を十二湖の森林セラピー遊歩道に敷き詰める予定です。

進路講話を聞く

7月7日、本校体育館において「進路講話」が開かれました。
この日は、平成24年度卒業で、現在八戸学院大学2年の寺沢千晶さん、平成22年度卒業で不老死温泉勤務の菊池香恋さん、平成22年度卒業でレストランカミリア勤務の三浦恵留さん、深浦町でヘア&メイクQz(キューズ)を営む長尾久子さんから、その職業を選んだ理由や、高校時代の過ごし方について様々なアドバイスをいただきました。
菊池さんや三浦さんからは「学生時代には、英語の力を身に付けておいた方がよい」というアドバイスをいただき、長尾さんからは、社会人として生きていくこと



厳しさを教えていただきました。
生徒たちは、先輩方の様々な体験談や、働くことで得た知識を聞き、今後の生き方についていろいろと学び、考えることができたようです。

行合崎清掃活動

7月17日、行合崎で海岸のごみ拾いを行いました。当日は晴天で、照りつける太陽のもと、生徒たちは各々ゴミ袋とデレキを手にし、学年ごとに決められた場所での活動を始めました。
至る所に、ロープやわな、プラスチックのおけやいす、ビーチサンダル、うきなど、数え切れないゴミが散乱していました。中には、外国の文字が書かれた容器もありました。
2時間程度、休み休み拾いましたが、とても拾いきれませんが、膨大な量のごみです。生徒も、あまりのごみの多さに驚いていました。
行合崎といえば、ニッコウキスゲの群生地として有名な景勝地です。ふるさとと大事な観光資源をきれいにし、次代に引き継いでいくことで、生徒のふるさとへの愛着がより深まるかもしれません。

8・9月の行事予定

- 8月22日(金) 2学期始業式
- 9月1日(月)～3日(水) インターシップ
- 10日(水) 1年次保育体験学習・2年次食育講座
- 11日(木) ふるさと研修②

町民文芸会

く川柳

ほんとうのことを言うまで追うホタル
深追いを許した人が今の妻
地獄見たピンチがあつて今の幸
大ピンチあればチャンスもきつとくる
子を奪う鬼人も母で子の親で
渡れない奪ったあとの水たまり
まつり酒いずれ過客となる仲間
温かい素うどんつるって今日を終え

浜町 関歩
佐々木 かもめ
乳井 光昭
後藤 信柳
山野 茶花子
草野 力丸
蒲田 磨砂
古川 博子

編集後記

夏本番となり、真っ黒に日焼けした元気いっぱいの子どもたちを対象としたイベントが行われました。
自分の小学校時代を振り返ると、天気が良ければ友だちと海へ行き、泳ぎ方やスノーケルの使い方をマスター。プールより海に行っている方が多かったように記憶しています。
そして、夏休み最終日に残っていた宿題をやっつけるといいう、お決まりのコース。始めのうちはきちんと計画して宿題をするものの、遊びたい年頃のため、いつしか後回しになってしまします。
幸い、7月中に限っては計画通り？に進んでいるうちの子たち。最後にどのようなドタバタ劇が見られるのか、見守りたいと思います。

戸籍の窓

6月21日～7月20日までの戸籍届出



お誕生おめでとう

紀本 湊太(進) 6区
児玉 滯南(恵) 東野
松下 駿汰(晴美) 北金1区
山家 芭心(綾子) 関
藤田 琉之介(宗希) 柳田



おくやみ申し上げます

長坂 良治(66歳) 船作
池田 昭吉(77歳) 3区
青木 とせ(98歳) 4区
細川 清富(85歳) 長慶平
中村 孝(78歳) 東野
藤嶋 かつ(86歳) 塩見崎
山本 てる(87歳) 風合瀬
平沢 祐(83歳) 風合瀬
七戸 キヨエ(92歳) 関
堀内 いっ(96歳) 関
伊東 銀三(88歳) 関
木村 健(24歳) 柳田



深浦町の人口と世帯
《7月末日現在》()内は前月比

男 …… 4,361人 (-6)
女 …… 4,889人 (-1)
計 …… 9,250人 (-7)
世帯数 3,906世帯 (+6)
深浦町の総面積 488.86km²

大卒の宿 ぶんがく文学館

今月の一冊

『マッチ箱日記』

ポール・フライシュマン／文
バグラム・イバトウーリン／絵
島 式子・島 玲子／訳
BL出版／刊

このコーナーでは、大卒の宿ぶんがく文学館が薦める書籍を紹介しています。

マッチ箱の中の、大切な記憶
本屋と骨董屋を営むひいちゃんのところへ、ひ孫の女の子が訪ねてきます。女の子はひいじいちゃんの部屋で、たくさん古いマッチ箱を見つめます。
幼い頃、字の書けなかつたひいじいちゃんは、日記をつける代わりに、マッチ箱にその日の思い出の品を入れていました。
オリブの種、父の写真、新聞の切れ端……箱の中の一つ一つの品には、ひいじいちゃんの記憶が刻まれています。

つて聞かせるのです。
イラストは一枚の絵画のように細かく描き込まれ、過去の場面は古い写真を思わせるセピア色で、現在の場面ははくもりのある色合いのカラーで表現されています。
ひいじいちゃんと女の子との間で交わされるあたたかな会話が、読後に深い余韻を残す、おすすめの絵本です。





このコーナーでは、元気いっぱい園児達の作品をご紹介します。

銀杏保育園のなかよしたち 「にてるかな？ ぼくとわたしのかお」

(左から)

まつした さち えさん (5さい)
かとう ゆ いさん (5さい)
はせがわ か いくん (6さい)
おの かな たくん (5さい)



深浦町の花



■ 福寿草 ■

深浦町の木



■ 樺 ■

深浦町の鳥



■ カモメ ■

* 寄附者の紹介 *

ふるさと納税制度を利用したご寄附を次の方からいただきました。

○ 東京都大田区 K・Y 様
○ 群馬県太田市 篠原 啓輔 様
○ 仙台市若林区 見上 敬 様
○ 兵庫県西宮市 福沢 常夫 様

ありがとうございます。



発行／青森県深浦町 編集／企画財政課企画調整係
☎ 0173-74-2111 (代表)

二人に 元気 です！

このコーナーでは、1歳を迎えた子ビッコ達をご紹介します



藤田 ひろただ 浩惟ちゃん
(父 浩修さん 母 由華さん) 柳 田

長坂良治議員が死去

長坂良治議員が病氣入院中のところ、7月7日、逝去されました。

長坂議員は、昭和59年に旧深浦町議会議員に初当選、以来29年10ヶ月にわたって町政の発展に御尽力されました。

この間、各常任委員長、議会運営委員長など数多くの要職を歴任されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

